

卒業生のキャリアに関する状況調査結果

卒業生のキャリア（就職・進学等）の状況の把握と教育活動等の改善のため、就職に関する卒業生アンケートを実施した。以下は、その集計結果である。

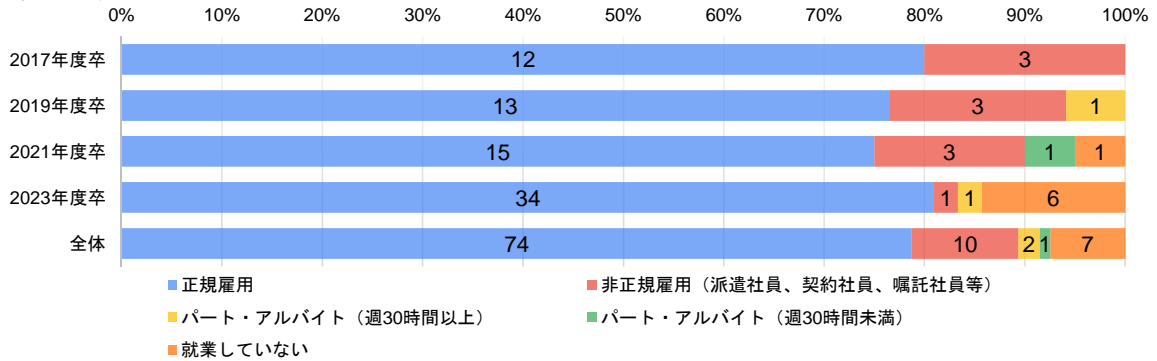
調査対象：本学卒業後 1 年、3 年、5 年、7 年を経過した卒業生
調査時期：2024年6月～7月

<回答者の内訳>

卒業年度	社会福祉	教育心理/ 子ども発達	スポーツ	健康科学	経済	国際福祉	看護	計
2017年度卒 (2018年3月卒業)	3	8	1	1	2	0	0	15
2019年度卒 (2020年3月卒業)	5	5	0	4	0	0	3	17
2021年度卒 (2022年3月卒業)	7	3	2	3	3	1	1	20
2023年度卒 (2024年3月卒業)	19	6	1	4	5	3	4	42
計	34	22	4	12	10	4	8	94

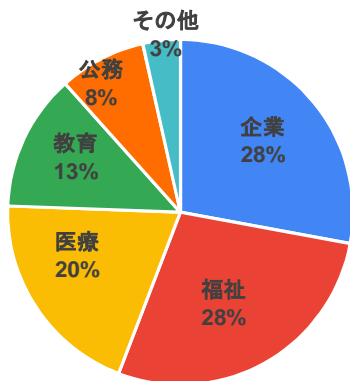
1. 現在の就業状況

1) 現在の雇用形態について

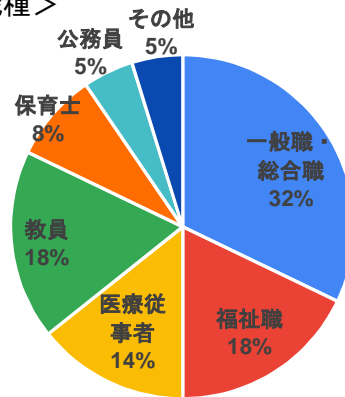


2) 現在の勤め先の業種・職種の内訳

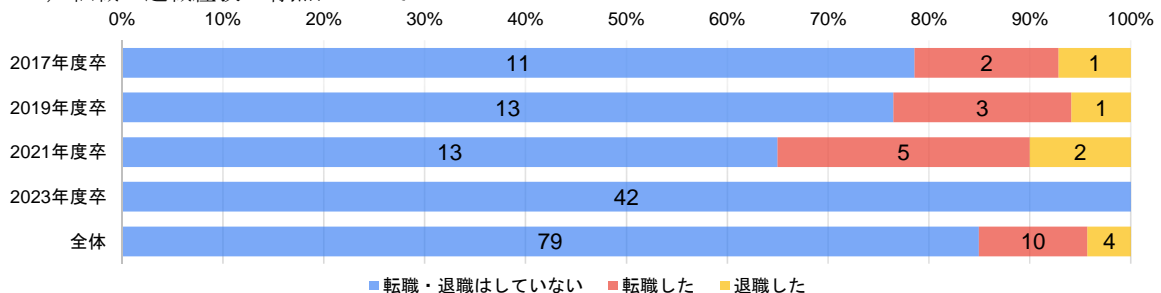
<業種>



<職種>



4-1) 転職・退職経験の有無について



4-2) 転職・退職をした方の時期について、最初の就職から何年経過後であったか。

< 転職時期 >

卒業年度	1年未満	1年経過後	2年経過後	3年経過後	4年経過後	5年経過後	6年経過後	7年経過後	計
2017年度卒	1			1					2
2019年度卒	1		1	1					3
2021年度卒	3	2							5
2023年度卒									0
計	5	2	1	2	0	0	0	0	10

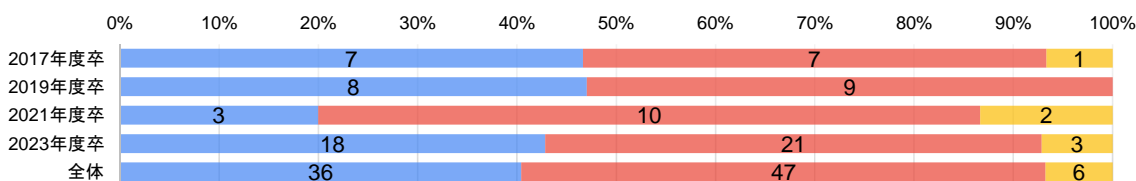
< 退職時期 >

卒業年度	1年未満	1年経過後	2年経過後	3年経過後	4年経過後	5年経過後	6年経過後	7年経過後	計
2017年度卒				1					1
2019年度卒			1						1
2021年度卒	1			1					2
2023年度卒									0
計	1	0	1	2	0	0	0	0	4

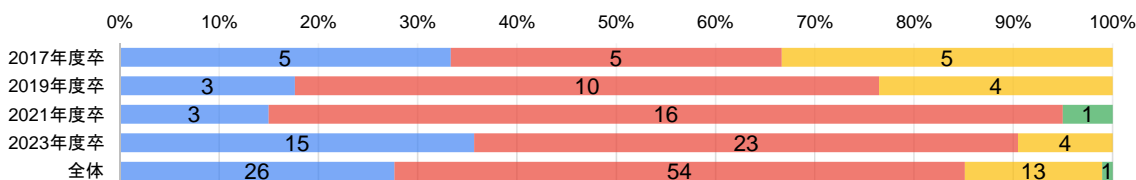
2. 以下の能力について、大学在学中にどの程度身につけたと考えているか。(3点満点)

■ とも身についた(3点) ■ やや身についた(2点) ■ あまり身につかなかった(1点) ■ 全く身につかなかった(0点)

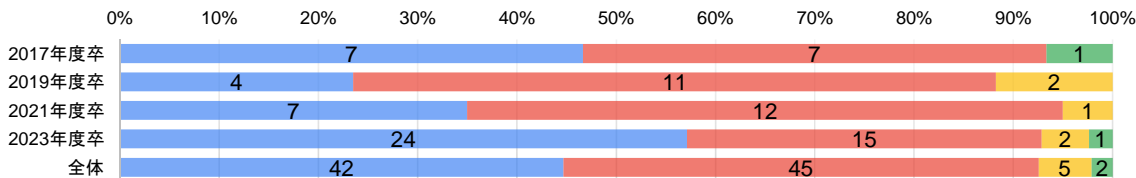
能力: 【A: 専門知識】 学科やコースで身につけられる専門的な知識や能力 平均得点: 2.3 点



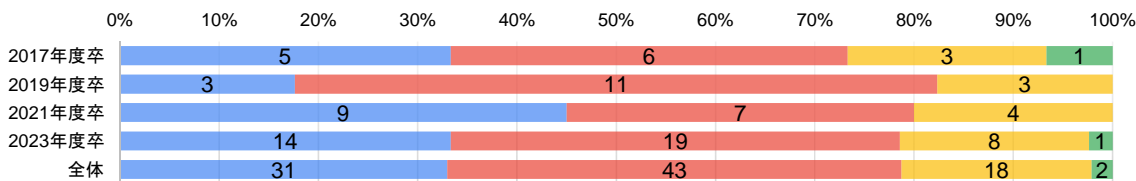
能力: 【B: 基礎学力】 一般常識 平均得点: 2.1 点



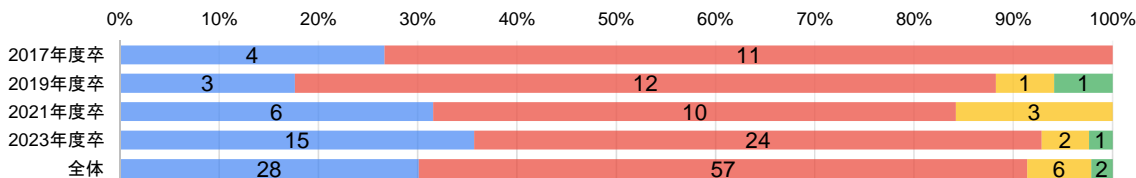
能力: 【C: 主体性】 物事に進んで取り組む力 平均得点: 2.4 点



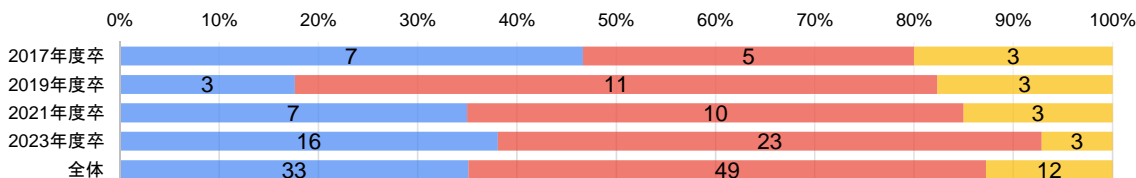
能力: 【D: 働きかけ力】 他人に働きかけ、巻き込む力 平均得点: 2.1 点



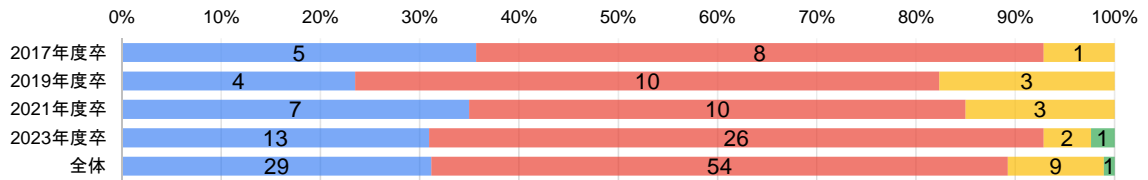
能力: 【E: 実行力】 目的を設定し確実に行動する力 平均得点: 2.2 点



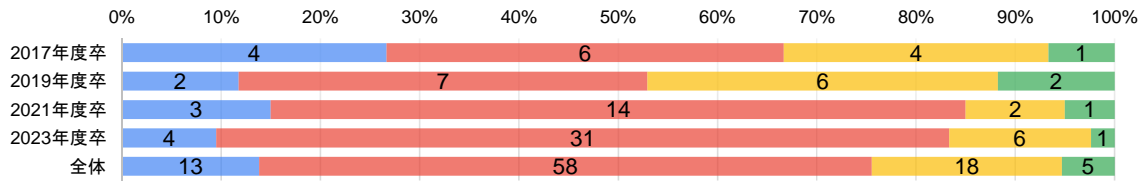
能力: 【F: 課題発見力】 現状を分析し目的や課題を明らかにする力 平均得点: 2.2 点



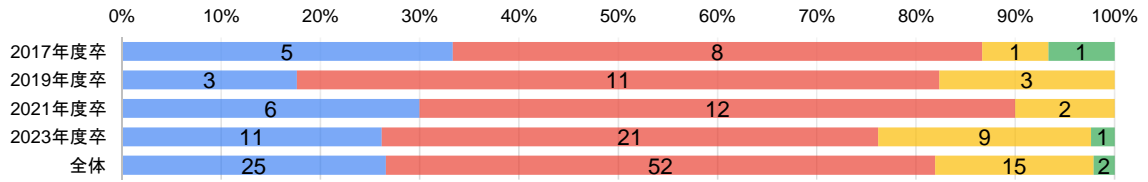
能力： 【G：計画力】課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力 平均得点： 2.2点



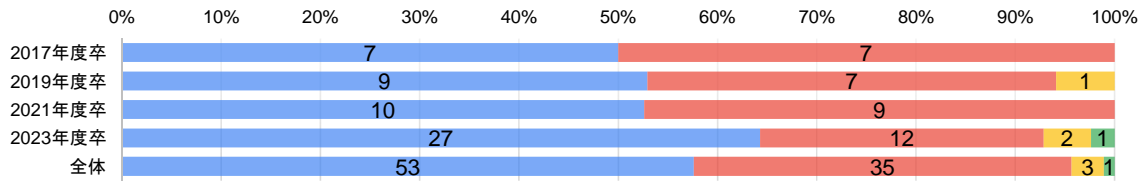
能力： 【H：創造力】新しい価値を生み出す力 平均得点： 1.8点



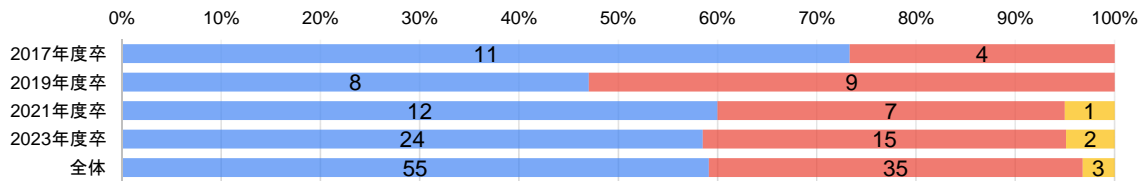
能力： 【I：発信力】自分の意見をわかりやすく伝える力 平均得点： 2.1点



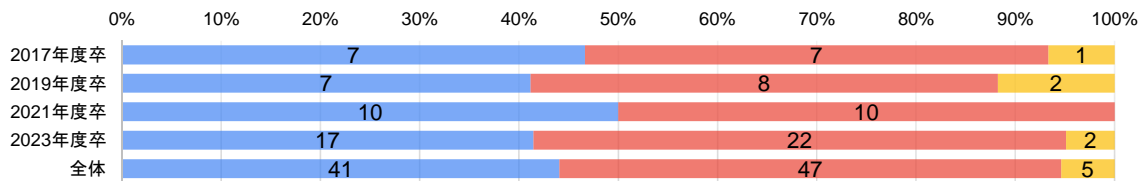
能力： 【J：傾聴力】相手の意見を丁寧に聴く力 平均得点： 2.5点



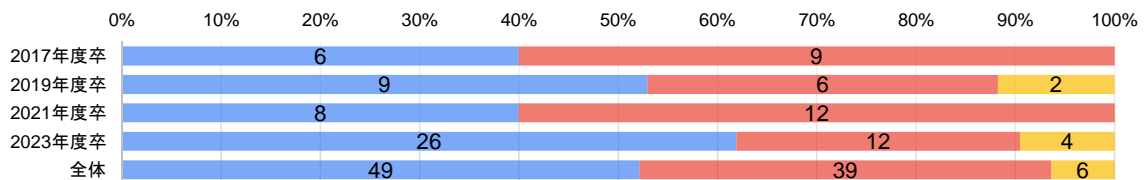
能力： 【K：柔軟性】意見の違いや立場の違いを理解する力 平均得点： 2.6点



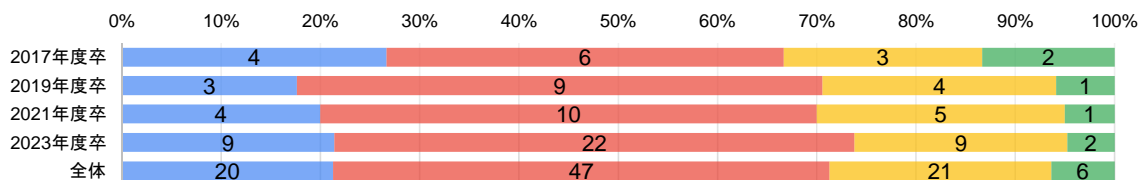
能力： 【L：状況把握力】自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力 平均得点： 2.4点



能力： 【M：規律性】社会のルールや人との約束を守る力 平均得点： 2.5点

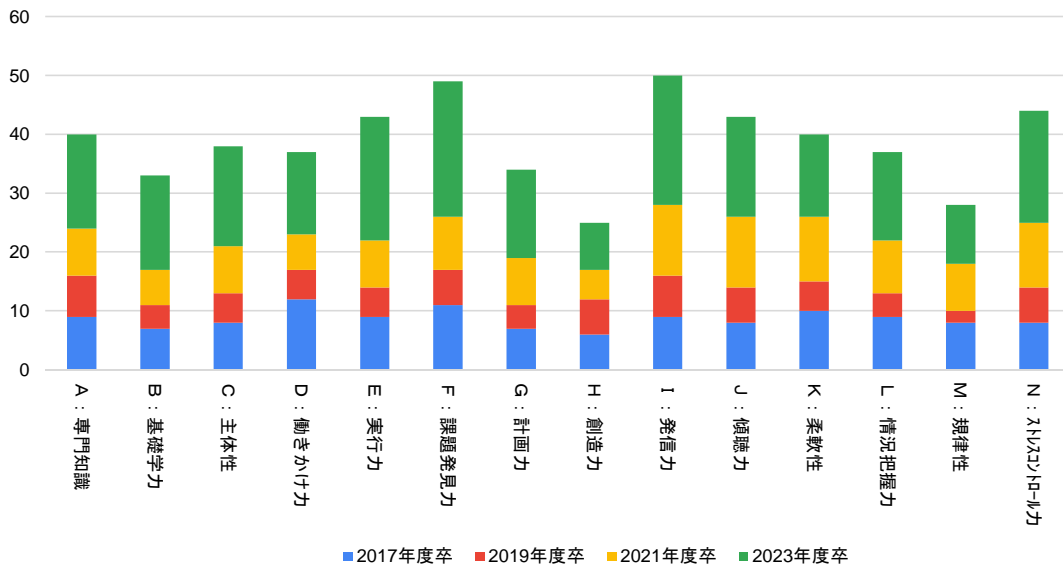


能力： 【N：ストレスコントロール力】ストレスの発生源に対応する力 平均得点： 1.9点

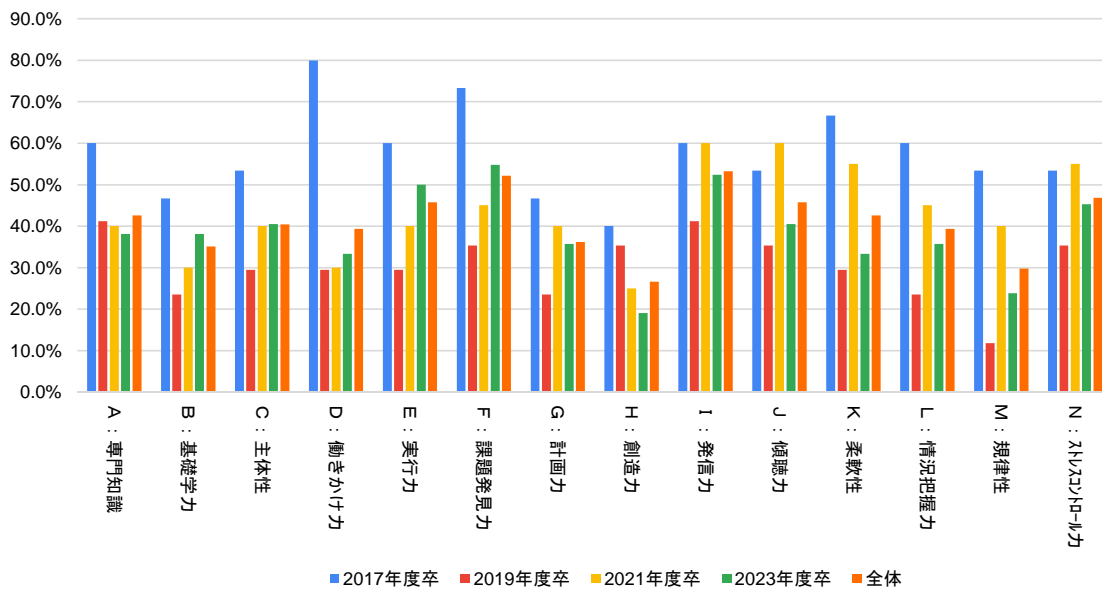


3. 現在求められている能力について（複数回答可）

<各回答の票数>



<各回答の回答率（卒業年度別）>



	2017年度卒		2019年度卒		2021年度卒		2023年度卒		全体	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
A: 専門知識	9	60.0%	7	41.2%	8	40.0%	16	38.1%	40	42.6%
B: 基礎学力	7	46.7%	4	23.5%	6	30.0%	16	38.1%	33	35.1%
C: 主体性	8	53.3%	5	29.4%	8	40.0%	17	40.5%	38	40.4%
D: 働きかけ力	12	80.0%	5	29.4%	6	30.0%	14	33.3%	37	39.4%
E: 実行力	9	60.0%	5	29.4%	8	40.0%	21	50.0%	43	45.7%
F: 課題発見力	11	73.3%	6	35.3%	9	45.0%	23	54.8%	49	52.1%
G: 計画力	7	46.7%	4	23.5%	8	40.0%	15	35.7%	34	36.2%
H: 創造力	6	40.0%	6	35.3%	5	25.0%	8	19.0%	25	26.6%
I: 発信力	9	60.0%	7	41.2%	12	60.0%	22	52.4%	50	53.2%
J: 傾聴力	8	53.3%	6	35.3%	12	60.0%	17	40.5%	43	45.7%
K: 柔軟性	10	66.7%	5	29.4%	11	55.0%	14	33.3%	40	42.6%
L: 状況把握力	9	60.0%	4	23.5%	9	45.0%	15	35.7%	37	39.4%
M: 規律性	8	53.3%	2	11.8%	8	40.0%	10	23.8%	28	29.8%
N: ストレスコントロール力	8	53.3%	6	35.3%	11	55.0%	19	45.2%	44	46.8%

4. 本学に期待すること（自由記述）

■2017年度卒

- ・社内には本学出身の素晴らしい先輩も多く、たくさん学ばせていただいています。また本学でできた学友とは今も交流を続け、現在も切磋琢磨しています。本学が今後も長く繁栄され、たくさんの福祉人材を輩出されることを願っています。
- ・大学時代、福祉についてとてもいい学びができ、この先の自分の人生にも役立つものが得られたと思います。就職活動について、夢を実現することも大事な経験とはなりましたが、もっと個別で自身の適性を深掘りしたり理解するキャリア支援があればよいと思います。
- ・固定概念にとらわれず、様々な観点から物事を見ることのできる力や、意見を出し合い、協力して物事を進めることのできる力を学生時代に身につけることができるとよいと感じます。
- ・在学中は硬式野球部に所属していました。野球部をはじめその他の部活に励む学生を陰ながら応援しています。目標に向かって日々切磋琢磨する4年間は本当に大切な時間だったと改めて実感しています。これからもスポーツに力を入れて近い将来で全国的に有名な大学になる事を期待しています。
- ・今の現場で、「ふくし」とのつながりをよく実感します。多様な子どもたちに適切な対応・教育ができるように、時々大学での学習を思い出しながら考えることもあります。やはり「ふくし」と各分野とのつながりを学べるのが本学の強みだと考えています。様々な環境で生きる人たちすべてに「ふつうのくらしのしあわせ」を実感させられる知識や技術を学べる大学であり続けてほしいと思います。
- ・在学中、卒業時には思っていなかった仕事に就いているが、大学での学びや経験と繋がっている。

■2019年度卒

- ・机上だけでなく、実戦で使える看護師の育成をこれからもしてってください。
- ・私は大学に入って初めて周りの環境に恵まれたと思いました。周りの環境で自分の考え方、行動が大きく左右します。私の通っていたキャンパスは自然が豊かすぎましたが、一緒に勉学に励んだ仲間たちは心豊かで思いやりの多い人たちばかりでした。先生方も学生を大切にする先生が多い気がしました。そこも良いところかと思えます。私は日本福祉大学に入ってよかったと心から思います。
- ・「ふくし」を理解して世の中に巣立って行く学生への支援
- ・この大学で学べたことを誇りに思っています。他大学での講義を受けたことがあるわけではありませんが、専門的な知識だけでなく、教職員の皆様のあたたかさのおかげで人と人との関わりがどれほど大切なものなのかを知ることができました。

■2021年度卒

- ・福祉だけにとらわれず幅広い分野で活躍する人材育成
- ・問題点を自分で見つけ出して、そこからどうやったら解決策が見つかるのかという作業をもっと在学中にできたら良かったと思った。また、コロナ禍で人と接する機会が減り社会に出てからストレスへの対処法が分からず鬱になる機会が多くなったのでストレスコントロールの仕方についても在学中に学べたら良かったと思う。
- ・私自身は非常に充実した大学生活を送らせていただきました！1人でも多くの学生が日福でよかったと思える環境づくりに期待致します
- ・社会福祉士の実習の指導がかなり念入りに行っていたので、社会人に必要な能力も合わせて勉強することができたと感じています。

■2023年度卒

- ・実習で実施したいタイミングにケアにいけるようにしてほしい。物品が足りないか、人手が足りないかで後回しにされて、なぜ終わっていないのかと怒られたことがある。
- ・社会福祉士の勉強、ゼミの課題などとても大変な大学生活でしたが、乗り越えられた達成感があります。支えてくださった大学に感謝しています。これからもたくさんの価値を身につけて、人に思いやりを持って過ごしていきたいです。福祉を学ぶ人が増えるといいなあと思います。
- ・障がい者雇用での就職を考えている学生への支援を行うこと。
- ・主体性と積極性が向上するようなプログラム
- ・福祉に関心のある学生が多くいるからこそ、在学中に様々な価値観に出会い高め合うことができる所が日本福祉大学の良いところではないかなと思います。